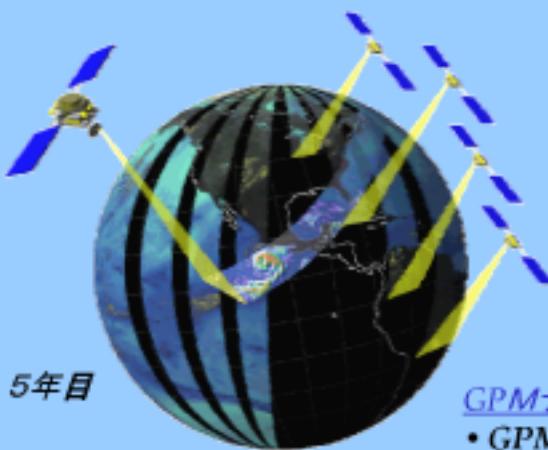


GPM/DPRプロジェクトの概要

—全球降水観測計画(GPM)—

主衛星**目的:**

- 降水システムの水平、鉛直構造の理解
- 微物理量、降水粒子情報の取得
- コンステレーション衛星群の校正
- 二周波降水レーダ (13.6GHz, 35.5GHz)
- 多周波マイクロ波放射計
- 打上げ手段を検討中
- TRMMタイプの衛星
- 太陽非同期軌道
- ~65° 軌道傾斜角、~400 - 500 km 高度 5年目標寿命
- ~4 km 水平分解能 250 m 鉛直分解能

**副衛星群****目的:**

- 十分な観測頻度 (降水は時間空間変動の大きな物理量)
- 科学的、社会的応用

- マイクロ波放射計搭載の小型衛星群 NASA, ESA, その他機関により実現
- 全体で3時間ごとの観測頻度
- 太陽同期極軌道
- ~600 km 高度

GPMデータセンター

- GPMパートナーによって提供される全球降水データのプロセッシング

GPMの国際分担案

衛星名	国・機関	バス	センサ	打上げ
GPM/ 主衛星	NASA	○	○	
	日本		○	*
NASA副衛星1	NASA/韓国	○	○	○
	インド		○	○
Megha-Tropique(副2)	フランス	○	○	
NPOESS1(副3)	NOAA	○	○	○
NPOESS2(副4)	NOAA	○	○	○
NPOESS3(副5)	NOAA	○	○	○
FY-3(副6)	中国	○	○	○

研究フェーズ

*検討中

EGPM(副7)	歐州	○	○	○
TBD(副8)	TBD	○	○	○

- 1機の主衛星と8機の副衛星群により3時間毎の全球降水観測を行う計画
- 日本は、GPM/DPRプロジェクトとして、二周波降水レーダの開発でGPMに参加
- NASAは2000年からフェーズA/Bに着手、JAXA/CRLは平成13年度から研究に着手